

わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」 に関する文献リスト (2014)

Bibliography of the intensive group experience
and group psychotherapy in Japan : 2014

野島 一彦
跡見学園女子大学
文学部臨床心理学科
Kazuhiko Nojima
Faculty of Letters, Atomi University

坂中 正義
南山大学
人文学部心理人間学科
Masayoshi Sakanaka
Faculty of Humanities, Nanzan University

I. はじめに

本文献リスト・シリーズでは、1989年までは「集中的グループ経験」「集団精神療法」のリストは別々に作成されているが、1990年からは2つのジャンルは一緒に収録されている。以下にこれまでのリストを示す。

● 「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1989)

- (1) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1969) 一付：グループ関係者(団体)名簿〔1982年12月現在〕福岡大学人文論叢, 14(4), 1457-1479.
- (2) 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1970～1980) 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 69-93.
- (3) 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1981) 一付：同リスト〔1970～1980〕の追録 九州大学心理臨床研究, 1, 87-95.
- (4) 野島一彦 1983 わが国の「集中的

グループ経験」に関する文献リスト (1982) 一付：同リスト〔1970～1981〕の追録九州大学心理臨床研究, 2, 107-115.

- (5) 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1983) 一付：同リスト〔～1982〕の追録およびグループ関係者(団体)名簿〔1983年12月現在〕福岡大学人文論叢, 15(4), 1479-1515.
- (6) 野島一彦 1985 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1984) 一付：同リスト〔～1983〕の追録およびグループ関係者(団体)名簿〔1984年12月現在〕福岡大学人文論叢, 16(4), 1527-1563.
- (7) 野島一彦 1986 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1985) 一付：同リスト〔～1984〕の追録 福岡大学人文論叢, 17(4), 775-790.
- (8) 野島一彦 1987 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1986) 一付：同リスト〔～1985〕の追録 福岡大学人文論叢, 18(4), 901

-914.

- (9) 野島一彦 1988 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1987) —付:同リスト〔~1986〕の追録 福岡大学人文論叢, 19(4), 981-994.
- (10) 野島一彦 1989 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1988) —付:同リスト〔~1987〕の追録 福岡大学人文論叢, 20(4), 1391-1411.
- (11) 野島一彦 1990 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1989) —付:同リスト〔~1988〕の追録 福岡大学人文論叢, 21(4), 1669-1687.

● 「集団精神療法」に関する文献リスト (~1989)

- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト (~1989) —そのⅠ:単行本, 研究論文 福岡大学人文論叢, 23(2), 501-533.
- (2) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト (~1989) —そのⅡ:学会発表, 翻訳, 書評, 海外文献紹介 福岡大学人文論叢, 23(3), 801-832

● 「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1990~)

- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1990) 福岡大学人文論叢, 22(4), 1115-1147.
- (2) 野島一彦 1992 わが国の「集中的

グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1991) 福岡大学人文論叢, 23(4), 1087-1124.

- (3) 野島一彦 1993 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1992) 福岡大学人文論叢, 24(4), 1343-1382.
- (4) 野島一彦 1994 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1993) 福岡大学人文論叢, 25(4), 1805-1834.
- (5) 野島一彦 1995 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1994) 福岡大学人文論叢, 26(4), 1809-1834.
- (6) 野島一彦 1996 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1995) 福岡大学人文論叢, 27(4), 2049-2074.
- (7) 野島一彦・坂中正義 1997 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1996) 九州大学心理臨床研究, 16, 81-99.
- (8) 野島一彦・坂中正義 1998 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1997) 九州大学心理臨床研究, 17, 99-112.
- (9) 野島一彦・坂中正義 1999 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1998) 九州大学心理臨床研究, 18, 135-150.
- (10) 野島一彦・坂中正義 2000 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1999) 九州大学心理臨床研究, 19, 103-120.
- (11) 野島一彦・坂中正義 2001 わが国

- の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2000）
九州大学心理臨床研究，20，103-120.
- (12) 野島一彦・坂中正義 2002 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2001）
九州大学心理臨床研究，21，151-168.
- (13) 野島一彦・坂中正義 2003 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2002）
九州大学心理臨床研究，22，207-223.
- (14) 野島一彦・坂中正義 2004 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2003）
九州大学心理臨床研究，23，131-143.
- (15) 野島一彦・坂中正義 2005 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2004）
九州大学心理臨床研究，24，117-128.
- (16) 野島一彦・坂中正義 2006 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2005）
九州大学心理臨床研究，25，137-153.
- (17) 野島一彦・坂中正義 2007 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2006）
九州大学心理臨床研究，26，251-268.
- (18) 野島一彦・坂中正義 2008 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2007）
九州大学心理臨床研究，27，137-152.
- (19) 野島一彦・坂中正義 2009 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2008）
九州大学心理臨床研究，28，165-179.
- (20) 野島一彦・坂中正義 2010 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2009）
九州大学総合臨床心理研究，2，101-121.
- (21) 野島一彦・坂中正義 2011 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2010）
九州大学総合臨床心理研究，3，185-198.
- (22) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2011）
九州大学総合臨床心理研究，4，143-162.
- (23) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2012）
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要，9，3-18.
- (24) 野島一彦・坂中正義 2014 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2013）
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要，10，3-25.
- 今回のリストは、「集中的グループ経験」と「集団精神療法」の2014年（1月～12月）の文献を収録している。また、これまでのリストにもれたものを追録という形で収録している。

第I部：「集中的グループ経験」

「集中的グループ経験」には、感受性訓練（ST）、Tグループ、ラボトリー・トレーニング、グループ・カウンセリング、

健康増進セミナー，自己発見のための合宿セミナー，自己との出会いのためのグループ合宿，エンカウンター・グループ，グループ・アプローチ，Lグループ，IPR，CST，行動集団カウンセリング，ゲシュタルト療法，交流分析等が含まれる．主に<成長>，<訓練>を目的とするグループである．

2014年の概況は次のようである．単行本は，発行されなかった．研究論文は，10本で前年より増加した．学会発表（口頭発表）は，日本人間性心理学会で22本，日本心理臨床学会で17本，日本カウンセリング学会で11本，日本学生相談学会で9本，日本教育心理学会で6本，日本心理学会で1本で前年より増加した．翻訳（単行本）は，発行されなかった．

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 石倉 篤 2014 Tグループにおける他者との関わりを通じた在り方の変容の過程(1) 南山大学人間関係研究センター「人間関係研究」, 13, 209-229.
2. 北島歩美・今村理洋ほか 2014 2013年度 グループセミナー活動の実践報告 日本女子大学カウンセリングセンター報告書, 37, 38-53.
3. 國武 恵・津村俊充 2014 人間関係づくり授業における現場教師とファシリテーターとの協働性に関するアクションリサーチ 南山大学人間関係研究センター「人間関係研究」, 13, 153-188.
4. 村山正治 2014 PCAグループワーク

の現代的意味—つながり・個人尊重・自分らしさの肯定・ダイバーシティモデルを目指して— 立命館大学心理教育相談センター年報, 12, 3-21.

5. 村山正治 2014 PCAグループによる夢ワークの体験学習 立命館大学心理教育相談センター年報, 12, 22-27.
6. 村山正治 2014 「PCAGIP法」のライブセッション：PCAグループをベースにした新しい事例検討法 立命館大学心理教育相談センター年報, 12, 28-41.
7. 村山正治 2014 クロージングセッション 立命館大学心理教育相談センター年報, 12, 42-60.
8. 中村玲子・越川房子 2014 中学校におけるいじめ防止を目的とした心理教育的プログラムの開発とその効果の検討 教育心理学研究, 62(2), 129-142.
9. 中尾陽子 2014 体験学習法を用いた人間関係トレーニングにおけるハンドベル演奏活動の試み(2) 南山大学人間関係研究センター「人間関係研究」, 13, 189-208.
10. 鈴木研司・平山栄治 2014 エンカウンター・グループにおける沈黙とグループ・について 心理臨床学研究, 32(4), 472-482.

C. 学会発表

1. 青塚 徹 2014 小学生に対するアサーション・グループワークの試み—短時間で行うプログラムの作成と年齢に応じた工夫— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 420.
2. 濱田里羽・木村 誠 2014 学科全体を対象としたコミュニケーションスキル

- 育成プログラムの試み 日本学生相談学会第32回大会
3. 濱田祥子・橋本容子 2014 グループ活動の運営における工夫についての考察—2年間の実践の報告から— 日本学生相談学会第32回大会
 4. 橋本容子・濱田祥子 2014 対人関係を苦手とする学生を対象とした継続的グループ活動の意義—参加者の語り分析から— 日本学生相談学会第32回大会
 5. 樋口純一郎 2014 児童自立支援施設における心理教育的グループワークの効果検証—小学生を対象としたソーシャルスキル向上をめざした認知行動療法的アプローチ— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 75.
 6. 平山栄治・富田悠生他 2014 グループアプローチを用いた心理療法研修プログラムの展開 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 615.
 7. 広瀬寛子・野村喜三枝ほか 2014 遺族のサポートグループにおけるファシリテーターとしての立ち位置とは 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 136-137.
 8. 古田典子 2014 看護専門学校におけるラボラトリー方式の体験学習による授業実践の検討 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 178.
 9. 井ノ山正文・田上不二夫 2014 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(67)—教師集団の質的変化がもたらす学級集団への影響— 日本カウンセリング学会第47回大会
 10. 伊藤義美 2014 大会準備委員長講演：私とカウンセラー—エンカウンター・グループとフォーカシングを中心に— 日本カウンセリング学会第47回大会
 11. 岩倉 篤 2014 Tグループにおける他者との関わりを通じた在り方の変容—自己理解・受容時の体験過程— 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 86-87.
 12. 岩田妙美・柘植順子他 2014 大学生のベーシック・エンカウンター・グループ体験が、その後にあたえる影響—第1報 養護教諭志望学生におけるBEG合宿体験— 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 188.
 13. 伊澤 孝・田上不二夫 2014 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(68)—スポーツ少年段活動における実践が価値のトライアングルに及ぼす効果— 日本カウンセリング学会第47回大会
 14. 角 隆司・須藤亜弥子他 2014 PCAを軸とした初心者セラピストのための体験合宿の試み 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 60-61.
 15. 金子周平 2014 看護学生を対象としたラージ・グループの展開の特徴と自己一致の促進 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 98-99.
 16. 春日徹男・中西美和 2014 Tグループを用いたリーダーシップトレーニング—参加者の小グループ体験の考察— 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 130-131
 17. 川島恵美・山本智也他 2014 Tグループのフォローアップ研究—参加者による体験の意味づけ— 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文

- 集, 191.
18. 茅野眞起子・岡安孝弘 2014 高校生におけるソーシャルスキル教育がメンタルヘルスに及ぼす効果 日本教育心理学会第56回総会
 19. 加勇田修士 2014 認定カウンセラーが行う集団認知行動療法 日本カウンセリング学会第47回大会
 20. 顧佩靈 2014 通信制高校におけるグループ体験学習における授業の試み 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 176.
 21. 小林朋子・渡辺弥生 2014 教師の要因によってソーシャルスキル・トレーニングの効果に違いが出るのか? (2) — SST後の教師の関わりが生徒のソーシャルスキルの変容に与える影響— 日本教育心理学会第56回総会
 22. 小林あずさ・福島祐人 2014 小学生高学年の同年代との関わりを主としたグループセラピー—ゲームを介したソーシャルスキルの取得を目指して— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 460.
 23. 小正浩徳・滋野井一博他 2014 不登校キャンプの意義—短期不登校キャンプ参加経験者へのPAC分析を通して— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 500.
 24. 小正浩徳・滋野井一博他 2014 不登校キャンプの意義 日本心理学会第78回大会
 25. 倉西 宏・大日方薫他 2014 青年期を迎えた遺児へのグリーフケアグループの意義—死別体験への取り組みにおける心理的变化の可能性— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 92.
 26. 黒木幸敏 2014 中学校でのアサーション・トレーニング導入に関する実践研究—社会科における表現力の向上の実践といじめ防止の実践を通して— 日本教育心理学会第56回総会
 27. 松本 剛 2014 研修プログラム: BEGのファシリテーター研修 日本カウンセリング学会第47回大会
 28. 松澤裕子・田上不二夫 2014 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり (64) —別室に集う生徒に対する対人関係ゲーム導入の効果— 日本カウンセリング学会第47回大会
 29. 三國牧子 2014 ベーシック・エンカウンターグループの構成を考える 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 56-57.
 30. 皆元 司 2014 合宿型グループのワーク体験が自他の認知と不安に与える影響の検討 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 124-125.
 31. 水野邦夫 2014 単発型の実施による構成的グループ・エンカウンターの効果に関する研究—日研修方式での実施と授業での実施との比較— 日本カウンセリング学会第47回大会
 32. 長野恵子・西村麻希ほか 2014 県外からの避難者に対するグループ支援活動のプロセス (第2報) 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 169.
 33. 永山智之 2014 個人療法と集団精神療法を併用したアプローチにおけるセラピストの体験プロセス—広汎性発達障害のある不登校生徒をめぐる— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 223.
 34. 仲嶺実甫子・甲田宗良ほか 2014 コ

- ンパッションに基づく学級集団SSTの効果の検討—コンパッションが学級満足度、社会的スキルに及ぼす影響 日本教育心理学会第56回総会
35. 中村麻衣子・中村扶実子 2014 高校生におけるピアカウンセラー養成プログラムの検討—2013年度のプログラム評価— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 450.
36. 中村家子・鳥井いおり 2014 学生相談室における多重的支援の応用—「居場所・仲間関係」を育むグループ活動をふりかえる(1)—日本学生相談学会第32回大会
37. 中村恵子・田上不二夫 2014 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(70)—フラッシュバックを呈する生徒に対する自己教示操作による不安の拮抗制止— 日本カウンセリング学会第47回大会
38. 中西美和・春日徹男 2014 Tグループを用いたリーダーシップトレーニング—参加学生は何を掴んだか— 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 172-173.
39. 中島千加子 2014 不登校生徒を取りまく女子中学生の心理理解と変化に関する集団コラージュ作成からの検討 日本教育心理学会第56回総会
40. 中植満美子・小泉 誠ほか 2014 不適応行動のある児童養護施設入所児童への集団療法その3—施設内での集団療法実施に求められる要因とその課題— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 198.
41. 難波 愛・岩田直也ほか 2014 不登校の子どもと家族に対する宿泊型プログラムに関する研究第4報(2)—保護者調査から— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 377.
42. 日本心理臨床学会(第33回) 2014 自主シンポジウム<集団に介入するとき何が起こるのか>—臨床感覚から生じる今このときの問題意識に基づいて考えるV— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 610.
佐々木美恵(企画者)
加藤庸子(企画者)
堀英太郎(企画者)
佐々木美恵(司会者)
加藤容子(話題提供者)
鈴木 誠(指定討論者)
堀英太郎(指定討論者)
松本寿弥(指定討論者)
渡辺俊之(指定討論者)
43. 日本人間性心理学会(第33回) 2014 自主企画<グループ臨床体験を語り合う集い> 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 32-33.
野島一彦(企画者)
高橋紀子(司会者)
岡村達也(司会者)
下田節夫(話題提供者)
藤 信子(話題提供者)
津村俊充(話題提供者)
坂中正義(指定討論者)
金子周平(指定討論者)
44. 日本人間性心理学会(第33回) 2014 自主企画<グループ体験を語ろう(1)> 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 40-41.
阿津川令子(企画者)

- 阿津川令子（話題提供者）
 角 隆司（話題提供者）
 船曳奈央（話題提供者）
 梅井 茜（話題提供者）
 須藤亜弥子（話題提供者）
45. 日本人間性心理学会（第33回） 2014
 自主企画<90分授業で行われるラボラトリー方式の体験学習> 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 46-47.
 杉山郁子（企画者）
46. 日本人間性心理学会（第33回） 2014
 自主企画<グループ体験を語ろう(2)> 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 48-49.
 角 隆司（企画者）
 角 隆司（話題提供者）
 船曳奈央（話題提供者）
 梅井 茜（話題提供者）
 須藤亜弥子（話題提供者）
 阿津川令子（話題提供者）
47. 日本心理臨床学会（第33回） 2014
 自主シンポジウム<グループ・アプローチを用いた心理療法研修プログラムの展開> 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 615.
 平山栄治（企画者）
 富田悠生（司会者）
 平山栄治（話題提供者）
 富田悠生（話題提供者）
 鈴木潤也（話題提供者）
 鈴木研司（話題提供者）
 岡村達也（指定討論者）
 濱田庸子（指定討論者）
48. 西澤佳代・田上不二夫 2014 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり
 (69) 一発達障害の理解と保護者間の人間関係づくりをめざした職員研修— 日本カウンセリング学会第47回大会
49. 野島一彦 2014 ワークショップ：3タイプのエンカウンター・グループ体験に触れる 日本学生相談学会第32回大会
50. 大河内範子 2014 膠原病サポートグループ立ち上げの試み—社会参加する膠原病患者への心理的サポート— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 32.
51. 大河内範子・高松 里 2014 病を語り、次の一步を踏み出す—膠原病サポートグループへの試み— 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 72-73.
52. 佐々木由利子 2014 大学祭における物語劇—サイコドラマ風自己表現の場として— 日本学生相談学会第32回大会
53. 新里侑那 2014 ファシリテーターがベーシック・エンカウンター・グループを研究すること 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 196.
54. 園田雅代 2014 ワークショップ：アサーション・トレーニング：学生相談・学生支援に生かせるように 日本学生相談学会第32回大会
55. 杉浦崇仁・木村太一他 2014 PCAグループにおけるC.R.Rogersの3条件の検討及び自己肯定感の変化についての考察 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 92-93.
56. 田上不二夫・中村恵子 2014 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり
 (65) 一年間プログラム実施学級（小6）の10年後追跡調査— 日本カウンセリング学会第47回大会

57. 田中真里・佐藤静香 2014 高等教育機関における発達障害学生支援グループワーカーサポーターとしてのピア学生の体験を中心に— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 203.
58. 鳥井いおり・中村家子 2014 ストレスマネジメントを目的とした体験型グループ活動の導入—「居場所・仲間関係」を育むグループ活動をふりかえる(2)—日本学生相談学会第32回大会
59. 東郷和美・岩田直也他 2014 不登校の子どもに対する宿泊型プログラムに関する研究第4報(1)—子ども調査から— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 376.
60. 津田優子 2014 発達障害をもつ小学校1年生に対するグループSSTの試み 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 126-127.
61. 内田圭子・田上不二夫 2014 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり(66)—高校生のスクール・モラルと進路自己効力との関連— 日本カウンセリング学会第47回大会
62. 若狭妙子・中尾恵弥子他 2014 難聴者を対象とした心理グループの取り組み—聴覚障害者支援施設におけるグループワークの一環として— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 47.
63. 山下陽平・窪田由紀 2014 小学生を対象とした対人関係ゲーム・プログラムの効果の検討—引込み思案・攻撃性の高い児童への効果の検討— 日本教育心理学会第56回総会
64. 横山孝行 2014 学生相談におけるグループプログラムの実践過程に関する研

- 究 日本学生相談学会第32回大会
65. 吉延 創 2014 ゲシュタルト療法を取り入れたエンカウンターグループの実践 日本人間性心理学会第33回大会プログラム・発表論文集, 158-159.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

1. 田畑 治 2014「坂中正義 2012『ベーシック・エンカウンター・グループにおけるロジャーズの中核3条件の検討』風間書房」人間性心理学研究, 31(2), 241-245.

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

付：「集中的グループ経験」に関する文献リスト〔～2013〕の追録

A. 単行本

1. 津村俊充・星野欣生編 2013 実践人間関係づくりファシリテーション 金子書房

B. 研究論文

1. 原田恵理子・渡部弥生 2013 高校生を対象とするSSTの効果の検討—教職課程の学生を含む授業者の違いに焦点をあてて— 日本カウンセリング学会第46回大会
2. 平宮正志 2013 詩作活用エクササイズと孤独感に関する一研究 日本カウンセリング学会第46回大会

3. 宮崎圭子・加藤やす子 2013 キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケーションナルグループの効果検討 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 10, 59-68.

4. 野島一彦他 2013 グループの「構成」と「構造」—エンカウンターグループとサイコドラマの対話— 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 10, 10, 27-37.

C. 学会発表
〔該当文献なし〕

D. 翻訳
〔該当文献なし〕

E. 書評
〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介
〔該当文献なし〕

第Ⅱ部：「集団精神療法」

「集団精神療法」には、集団心理療法、グループ・セラピー、心理劇（サイコドラマ）、活動集団療法、集団遊戯療法、集団分析、グループワーク、治療キャンプ、集団絵画療法、音楽療法、生活技能訓練（SST）、デイケア、治療共同体、ソーシャル・クラブ、セルフ・ヘルプ・グループ、ダンス療法、グループ連動表現療法、レクリエーション療法等が含まれる。主に＜治療＞を目的とするグループである。

2014年の概況は次のようである。単行本

は、3冊刊行された。研究論文は、68本で前年より増加した。学会発表（口頭発表）は、日本集団精神療学会で50本、日本心理臨床学会で10本、日本発達心理学会で2本で前年より減少した。翻訳（単行本）は、1冊刊行された。

A. 単行本

1. 藤岡淳子 2014 非行・犯罪心理臨床におけるグループの活用 —治療教育の実現 誠信書房
2. 小谷英文 2014 集団精神療法の進歩 引きこもりからトップリーダーまで 金剛出版
3. 鈴木純一 2014 集団精神療法 理論と実践 金剛出版

B. 研究論文

1. 相澤秀子・千田真理子他 2014 依存症のグループを体験する 集団精神療法, 30(2), 198-203.
2. 赤松佑香・財津麻衣子 2014 精神科スーパー救急病棟での薬の集団療法 集団精神療法, 30(2), 220-224.
3. 青木桃子 2014 ヒプノセラピー 集団精神療法, 30(2), 188.
4. 青戸由理子・大森真澄 2014 精神科看護師のためのサポートグループの実践 —グループの中で怒りを出すことの意味— 集団精神療法, 30(2), 245-250.
5. 新居みちる 2014 双極性障害の休職者への復職支援 “言語的集団療法”と“非言語的集団療法”における表現と体験過程の考察から 精神療法, 40(4), 91-100.
6. 藤 信子・田原明夫他 2014 東日本

- 大震災関係者の相互支援グループV—災害から1年8ヶ月—2年7ヶ月の経過—集団精神療養, 30(1), 49-56.
7. 萩原加奈美他 2014 学習グループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 82-84.
 8. 針生江美 2014 災害のグループとの出会い 集団精神療法, 30(2), 194.
 - 9.
 10. 長谷川麻弓 2014 日本集団精神療法学会 第31大会: 開会挨拶 集団精神療法, 30(2), 142-143.
 11. 堀井湖浪 2014 看護教育におけるグループの教育方法 集団精神療法, 30(1), 18-24.
 12. 巖岩秀章 2014 臨床心理士の養成におけるグループの訓練 集団精神療法, 30(1), 33-39.
 13. 藤 信子・田原明夫他 2014 東日本大震災関係者の相互支援グループ—経過と今後を考える— 集団精神療法, 30(2), 176-181.
 14. 藤堂信枝・高林健示他 2014 「戦争体験」のシェアリングに向けたひとつの試み—沖縄戦を事例として— 集団精神療法, 30(2), 152-157.
 15. 藤巻加奈子 2014 「つなぐ」役割へ 集団精神療法, 30(1), 32.
 16. 藤澤美穂・針生江美他 2014 災害と、いれものとしてのグループ—いま、そこに流れるもの— 宮城, 2014年 集団精神療法, 30(2), 204-210.
 17. 今泉紳一他 2014 もみもの依存症グループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 74-77.
 18. 猪師由郁子・河合健彦 2014 児童病棟における小学生グループの試み—SSTを媒介としたキッズタイムの展開— 集団精神療法, 30(2), 251-256.
 19. 井上 弥・高木 貢 2014 小グループ〈タバコの会〉の役割とその変化—病院敷地内全面禁煙に向けて病棟内小グループの取り組み— 集団精神療法, 30(2), 239-244.
 20. 岩淵智恵美 2014 雛グループ 集団精神療法, 30(1), 77.
 21. 重田理佐・小針英一郎 2014 デイケア「裏グループ」における個人病理と集団病理の混乱 集団精神療法, 30(2), 228-232.
 22. 甲斐千穂他 2014 薬物依存症者のための勉強会活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 56-58.
 23. 神宮京子 2014 ‘動’なるいれもの—ダンス/ムーブメントセラピー体験— 集団精神療法, 30(2), 158-162.
 24. 金子真樹他 2014 ソーシャライジングクラブ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 93-96.
 25. 片柳光昭 2014 被災地での支援者支援とグループ 集団精神療法, 30(1), 57-63.
 26. 菊池陽子 2014 仮説住宅コミュニティ支援における場の継続—宮城県臨床心理士会の活動から— 集団精神療法, 30(1), 64-70.
 27. 菊池清美他 2014 ウィメンズグループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と

- 虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 63-66.
28. 北村 毅 2014 「戦争体験」のアクチュアリティー—記憶の〈いれもの〉としての社会— 集団精神療法, 30(2), 150-151.
29. 古賀恵里子 2014 学会印象記: The Consortium for Therapeutic Communities (TCTC) Annual International Conference-Windsor 2013—に参加して 集団精神療法, 30(1), 107-108.
30. 古賀禎也他 2014 ギャンブルグループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 88-92.
31. 小銭寿子 2014 精神保健福祉士養成教育におけるグループ体験と課題—ソーシャルワーカーの役割の変容とIPEの位置づけ— 集団精神療法, 30(1), 11-17.
32. 工藤由佳 2014 コミュニティ・ミーティングのコンダクターになることと病棟医になること—言うべきことと言うべきでないことの間 (はざま) 集団精神療法, 30(2), 225-227.
33. 前由紀美・片岡初代他 2014 精神科閉鎖病棟のコミュニティ・ミーティングで入院患者の死を扱う意味について 集団精神療法, 30(2), 257-261.
34. 松本佳子 2014 精神科病棟における傷ついた女性たちのためのグループ実践—演劇的体験としての「娘グループ」— 集団精神療法, 30(1), 85-92.
35. 松本佳子 2014 グループの中での死別をめぐる語りとスタッフの死別体験—精神科病棟における女性のためのグループの実践から— 集団精神療法, 30(2), 233-238.
36. 真弓里砂他 2014 家族支援プログラム活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 71-73.
37. 蓑島豪智 2014 学会印象記: 第56回日本病院・地域精神医学会総会に参加して 集団精神療法, 30(1), 105-106.
38. 水上真理子 2014 年長さんのグループ, 始めました. 集団精神療法, 30(1), 111.
39. 水上雅敏 2014 論理的な学校経営とは? 集団精神療法, 30(2), 168.
40. 水野高昌 2014 作業療法士教育におけるグループの教育方法 集団精神療法, 30(1), 25-32.
41. 森智秀他 2014 ゲーム・ネット依存グループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 97-101.
42. 野村 学 2014 体験的グループの会 集団精神療法, 30(1), 109-110.
43. 二之宮正人・福澤宏之ほか 2014 急性期病棟・訪問アウトリーチのグループの実際と意義 集団精神療法, 30(2), 163-168.
44. 西川昌弘・足立智昭他 2014 場所に於いて在る人のところがはたらく対話の理論と実践に向けて—場所に於いて体性感覚を覚醒させ一対のなかで真の人間になる— 集団精神療法, 30(1), 78-84.
45. 西林淑子 2014 庭をめぐって 集団精神療法, 30(1), 10.
46. 西崎 淳・太田裕一他 2014 グループ文化について: グループの歴史と未来

- への願い—精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会— 集団精神療法, 30(2), 169-175.
47. 小鷹昌明 2014 福島県南相馬市におけるコミュニティの創出:HOHP (H=引きこもり・O=お父さん・H=引き寄せ・P=プロジェクト) の誕生の経緯と活動状況 集団精神療法, 30(1), 71-77.
48. 大越拓郎 2014 学会印象記:日本デイケア学会第18回年次大会 集団精神療法, 30(1), 103-104.
49. 岡島美朗 2014 学会印象記:第110回日本精神神経学会総会 集団精神療法, 30(2), 276-277.
50. 大森真澄 2014 園芸活動を介したグループは復活するのか 集団精神療法, 30(2), 175.
51. 才田康成他 2014 生活習慣改善グループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 78-81.
52. 齋藤英二 2014 特集2 東日本大震災から2年半の現在(第3報) 特集について 集団精神療法, 30(1), 47-48.
53. 関 百合・水田博子 2014 グループアナリシス・体験グループワークショップ報告—ミディアングループのなかで集団と個人を語り合う— 集団精神療法, 30(2), 217-219.
54. 嶋田博之 2014 精神科医に対するグループの教育 集団精神療法, 30(1), 40-46.
55. 嶋田博之・鴨澤あかね他 2014 機能的サブグループ〈functional subgrouping〉を体験する—体験グループの報告と理論的考察— 集団精神療法, 30(2), 211-216.
56. 重松順子他 2014 Dグループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 67-70.
57. 高林健示 2014 いれものとしてのグループ 集団精神療法, 30(2), 144-145.
58. 高田 毅 2014 海外文献紹介:集団精神療法における集団凝集性 集団精神療法, 30(2), 269-273.
59. 高橋 馨・野中稔他 2014 〈講演〉—そこにあるように— 集団精神療法, 30(2), 195-197.
60. 高橋健示・鈴木純一 2014 集団精神療法学会第31回大会 全体グループ 集団精神療法, 30(2), 262-268.
61. 高橋美紀・藤巻加奈子 2014 サイコドラマ体験ワークショップ—アクションを用いた集団精神療法を体験する— 集団精神療法, 30(2), 189-194.
62. 多喜田恵子 2014 特集1 グループの教育方法 グループの教育方法:特集にあたって 集団精神療法, 30(1), 8-10.
63. 田中徹哉 2014 学会印象記:第27回日本思春期精神医学会に参加して 集団精神療法, 30(2), 274-275.
64. 徳永浩子他 2014 ACグループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 52-55.
65. 上田玲美他 2014 摂食障害グループ活動報告 医療法人コミュニテ 風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 59-62.

66. 渡部京太・木沢由紀子他 2014 子どもグループの始め方 集団精神療法, 30(2), 182-188.
67. 山口まどか他 2014 アルコールグループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 47-51.
68. 矢野夕紀他 2014 措置入院患者ミーティング活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2013年度臨床活動研究報告論文集, 85-87.
6. 藤澤美穂・針生江美ほか 2014 自主ワークショップ：災害と、いれものとしてのグループ—いま、そこに流れるもの— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 51.
7. 藤澤美穂・安部康代 2014 自主ワークショップL：災害と、いれものとしてのグループ—いま、そこに流れるもの— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 51.
8. 権 成鉉・梶本浩史 2014 大会企画ワークショップV体験グループ 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 46.
9. 北條 愛・都築明日香他 2014 テーマセッションIV学校教育学校臨床アウトリーチにおけるスタッフグループの意義 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 43.
10. 猪師由郁子・河合健彦 2014 テーマセッションVI多様な実践：児童病棟における小学生小グループの試み—SSTを媒体とした「キッズタイム」の展開— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 57.
11. 井上 弥・高木 貢 2014 テーマセッションII病院臨床2小グループ(タバコの会)の役割とその変化—病院敷地内全面禁煙に向けて病棟内小グループの取り組み— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 37.
12. 伊ノ崎敦子 2014 DV被害女性のための心理教育グループの効果に関する研究(3)—単発の心理教育グループの効果検討— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 398.
13. 五島史行 2014 テーマセッションVI

C. 学会発表

1. 相川幸輝 2014 女性統合失調症者への外来居場所活動的グループ—安全に「遊ぶ」ための素人性と専門性のバランス— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 50.
2. 赤松佑香・財津麻衣子他 2014 事例検討2：精神科スーパー救急病棟での薬の集団療法 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 66.
3. 安藤美華代 2014 糖尿病教室におけるグループセラピー—心理教育“サクセスフル・セルフ”を活用して— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 572.
4. 青戸由理子・大森眞澄 2014 テーマセッションIII喪失精神科看護師のためのサポートグループの実践—グループの仲で怒りを出すことの意味— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 39.
5. 高橋美紀・藤巻加奈子 2014 自主ワークショップF：サイコドラマ体験ワークショップ —アクションを用いた集団精神療法を体験する— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 30.

- 多様な表現：めまい集団入院リハビリテーションによる難治性めまいの治療— 集団療法としての効果と行動療法としての効果— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 58.
14. 岩辻登・田中 亘他 2014 テーマセッション：10グループという名の小グループ— 1年間の実践から見えてきたもの— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 32.
 15. 神宮京子 2014 大会企画ワークショップⅡ：‘動’なるいれもの— ダンス/ムーブメントセラピー体験— 日本集団精神療学会第31回抄録集, 23.
 16. 甲斐更紗 2014 テーマセッションⅥ 多様な実践：集団回想法的グループワークによる高齢聴覚障害者の語り 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 59.
 17. 神山恵子・三浦春美他 2014 職場復帰のための集団認知行動療法— 終了1年後の経過に関する検討— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 601.
 18. 加藤真弓・紫藤恵美他 2014 軽度認知障害（MCI）に対する集団認知リハビリテーションの効果— メモリーワークを通して— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 297.
 19. 北村 毅 2014 特別講演：「戦争体験」のアクチュアリティー：記憶の＜いれもの＞としての社会 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 21.
 20. 古賀禎也・堀川百合子他 2014 テーマセッションⅧ 治療構造：病的ギャンブラーの人とのつながりについて— グループとの関係性を通して— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 61.
 21. 工藤由佳 2014 テーマセッションⅠ 病院臨床1：コミュニティ・ミーティングのコンダクターになることと病棟医になること— 言うべきこととすべきでないことの間— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 33.
 22. 前田 潤 2014 自主ワークショップC：喪失と悲嘆，トラウマワークのための普及型サイコドラマ その1 日本集団精神療法第31回大会抄録集, 27.
 23. 前田紀美 2014 テーマセッションⅧ グリーフ：精神科病棟のCMMで入院患者の死を扱う意味について 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 63.
 24. 松原直美・木山 希 2014 事例検討1 慢性期閉鎖病棟における小グループの実践— 暴力と逸脱行為が目立つ患者と看護師の変化— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 44.
 25. 松本佳子・石井ゆかり他 2014 テーマセッションⅡ 病院臨床2 精神科病棟における女性による女性のためのレディスグループ— グループ名とコンダクターの変化はグループにどう影響したか— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 35.
 26. 松向寺真彩子・高橋裕子 2014 中年期がん患者を対象としたグループの意義と課題— 必然性と偶然の共存にいかに向き合うか— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 65.
 27. 森吉里奈・久野夕子他 2014 成人期発達障害者グループの現状と課題— 2年間の試みから— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 162.
 28. 中川亜希・山根隆宏他 2014 発達障

- がい学生を想定した学生相談機関におけるグループワークの試み(2) —参加者アンケート結果と2年間継続的に参加した学生Aさんについての個別検討— 一般社団法人日本発達心理学会第25回大会プログラム, 105.
29. ニノ宮正人・福澤宏之他 2014 自主ワークショップA:急性期病棟・地域アウトリーチのグループの実際と意義 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 25.
30. 西田知佳子・池田真人他 2014 テーマセッションⅦ 治療構造:グループとの別れと継承—グループは終れるか?— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 62.
31. 野島一彦 2014 大学の授業における半構成的エンカウンター・グループ 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 41.
32. 野島一彦・権成鉉他 2014 自主ワークショップB:グループ文化について —グループの歴史と未来への願い— 精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 26.
33. 野島一彦 2014 テーマセッションⅣ 学校教育大学の授業における半構成的エンカウンター・グループ 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 41.
34. 尾上明代 2014 自主ワークショップI:活性化し受け入れる:照らしかえず実体としてのグループ—ドラマセラピー手法による個人とグループのダイナミズムの展開— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 48.
35. 小黒明日香 2014 テーマセッションⅢ 喪失行政機関の精神保健福祉実務担当者会議における事例検討の意義—ケースワークに還元されるグループワークの模索— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 38.
36. 岡崎翼・高桑洋介他 2014 テーマセッションⅤ ドラマ他:「復職,再就職を目指す方々のためのグループ療法」の報告 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 56.
37. 落合尚美・石附牧子 2014 テーマセッションⅧ 治療構造:変容するグループの器と,コンテインするということ 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 60.
38. 坂口享・高田和久他 2014 自主ワークショップK:依存症のグループを体験する 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 50.
39. 榊恵子 2014 テーマセッションⅢ 喪失ピア・グループにおける対象喪失—精神看護学教員グループでの体験事例— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 40.
40. 関百合・水田博子 2014 自主ワークショップN:グループアナリシス・体験グループワークショップ—ミディアングループのなかでの集団と個人を語り合う— 日本集団精神療学会第31回大会抄録集, 53.
41. 関根知彦・山下真菜 2014 成人PPD者を対象としたグループ療法の開発モデル化について—クリニックでの自己理解・セルフエスティームの回復・社会とのつながりを目指した支援の試み— 日

- 本心理臨床学会第33回大会発表論文集，
55.
42. 重田理佐・小針英一郎他 2014 テーマセッションⅠ 病院臨床1：デイケア「裏グループ」における個人病理と集団病理の混乱 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，34.
43. 嶋田博之・鴨澤あかね他 2014 自主ワークショップM：“機能的サブグループ (functional subgrouping)” を体験する 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，52.
44. 白柿 綾・近平典子ほか 2014 テーマセッションⅡ 病院臨床2 精神科病棟における「難しい患者たち」のピアグループに関する実践的研究 その2 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，36.
45. 島田乃梨子・古賀 聡 2014 障害を持つ当事者によるセルフヘルプ・グループの意義と課題 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集，172.
46. 杉田真也・高良 聖 2014 テーマセッションⅤ ドラマ他：サイコドラマによる感情変容—役割の違いが及ぼす影響— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，54.
47. 田原明夫・藤 信子 2014 自主ワークショップD：東日本大震災関係者の相互支援グループ—経過と今後を考える (3) — 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，28.
48. 林 健示 2014 大会長講演：いれものとしてのグループ 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，20.
49. 林 健示・藤堂信枝帆帆他 2014 大会企画ワークショップⅠ：戦争体験のシェアリングに向けた1つの試み — 沖縄戦を事例として— 日本集団精神療法学会第31回抄録集，22.
50. 高林健示・鈴木純一 2014 全体グループ 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，67.
51. 高橋 馨・野中 稔他 2014 こうえん since2008 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，49.
52. 高橋裕子・松向寺真彩子 2014 テーマセッションⅧ グリーフ：遺族のためのグループケア—過去と今，これからをつなぐこと— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，64.
53. 武井麻子・小宮敬子他 2014 自主ワークショップH：実践者のためのグループ 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，47.
54. 田邊 等・管 武史 2014 大会企画ワークショップⅢ：基礎講座 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，24.
55. 田中怜子・古賀恵里子 2014 大会企画ワークショップⅣ 入門グループ 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，46.
56. 田代 順 2014 自主ワークショップG：ナラティブなグループアプローチを体験する (その4) —as if work (アンダーソン) とリフレクティング・プロセスの応用による事例検討・グループスーパービジョンの試み— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，31.
57. 近松典子 2014 テーマセッションⅤ ドラマ他：サイコドラマにて認められたリワーク参加者のロールの変化 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集，55.

58. 都築明日香・北條 愛他 2014 テーマセッションⅣ学校教育教育共同体におけるグループアプローチの有効性—高校におけるストレス対応教育を通しての分析— 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 42.
59. 辻保奈美・足立匡基 2014 高機能自閉症スペクトラム障害児を対象としたグループセラピー—環境設定を基盤としたプログラムの検討— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 158.
60. 土屋明美・古里國恵 2014 心理劇グループで家族を支える—長期にわたる家族とのかかわり— 日本心理臨床学会第33回大会発表論文集, 200.
61. 渡部京太・木沢由紀子他 2014 自主ワークショップE：子どものグループの始め方 日本集団精神療法学会第31回大会抄録集, 29.
62. 山根隆宏・中川亜希他 2014 ポスター発表7：発達障がい学生を想定した学生相談機関におけるグループワークの試み(1) —プログラムの修正過程からみえる支援の留意点の検討— 一般社団法人日本発達心理学会第25回大会プログラム, 105.

D. 翻訳

1. The American Group Psychotherapy Association 2014 Clinical Practice Guidelines For Group Psychotherapy. (日本集団精神療法学会監訳/西村 馨・藤信子訳 集団精神療法実践ガイドライン創元社)

E. 書評

[該当文献なし]

F. 海外文献紹介

1. 川合裕子 2014 メディアン (median) グループの発達 集団精神療法, 30(1), 98-102.
2. 田中怜子 2014 社会精神医学：治療共同体アプローチ 集団精神療法, 30(1), 93-97.

付：「集団精神療法」に関する文献リスト〔～2013〕の追録

A. 単行本

1. 土屋明美 2013 グループ活動を始める時に一つなかりを育む50のかかわり技法— ななみ書房

B. 研究論文

1. 相田信男 2012 集団精神療法家の「資格」—その現状と必要条件— 精神療法, 38(6), 31-37.
2. 鴨澤あかね・嶋田博之 2013 ワークショップ：“機能的サブグループ (functional subgrouping)” を体験する 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 35.
3. 北島歩美・安藤由紀子他 2011 2011年度 グループ・セミナー活動の実践報告 日本女子大学カウンセリングセンター報告書, 35, 30-37.
4. 北島歩美・安藤由紀子他 2013 2012年度 グループ・セミナー活動の実践報告 日本女子大学カウンセリングセンター, 36, 54-68.

C. 学会発表
〔該当文献なし〕

D. 翻訳
〔該当文献なし〕

E. 書評
〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介
〔該当文献なし〕

〔お願い〕

リストに収録した文献の記述上の誤りを見つけられた方、もれている文献を御存知の方は、筆者まで御連絡願えれば幸いです。

連絡先 〒352-8501 埼玉県新座市中野1
-9-6 跡見学園女子大学文学部
野島一彦

TEL 048-478-4252

FAX 048-478-3475

E-mail nojima@atomi.ac.jp

URL <http://nojimakazuhiko.jimdo.com/>